

# 可決!

# 補正予算

## 補正

**一般会計は、4千5百68万円が追加され、総額8億9千72万6千円となりました。**

### 一般会計

#### 歳入

歳入増の主なものは、県支出金3千9百85万2千円(万座毛周辺活性化事業・前兼久交流施設整備事業)繰入金3千2百23万7千円。  
歳入減の主なものは、国庫支出金2千9百51万1千円。

#### 委員からの質疑

**質** 幼稚園入園料は

**答** 法律改正により入園料の項目が廃止され、新たな項目として、保育料に転化された。

**質** 博物館入館料の減額は

**答** 図書館が併設されたことにより博物館の集客率を高めるため無料にする。

**質** 目的の対象となる個人有地を鑑定するもので約1千3百81㎡を予定している。  
**質** 給食サービス委託料の増額は  
**答** 宅配業者も増え、需要の増加に対応した結果である。  
**質** 単位老人クラブ補助金の減額は  
**答** 太田老人会の活動が休止していることによる。  
**質** 移動支援事業車両購入補助金の増額は  
**答** 恩納村社会福祉協議会が車両を購入するため。  
**質** 民生費の過年度還付金の増額は  
**答** 平成26年度の実績を清算し、国、県に還付するもので毎年発生する。

**質** 事業費返還金の増額は  
**答** 新規事業での対象者範囲の拡大解釈による過大予測による。

**質** 障害者自立支援費負担金の増額は

**答** 利用者の増及び利用回数増で国庫補助率は1/2。

**質** 村立幼小中学校安全対策監視カメラ設置事業の減は

**答** 全校29カ所に設置した事業費の入札残。



2種類の監視カメラ

**質** 社会資本整備総合交付金(大道橋架橋工事)の減額は

**答** NTTの配線の移設に時間を要したため、着工できず、次年度へ予算計上する。

**質** 新川護岸改修事業の減額は

**質** 施設等修繕費の増額は  
**答** 斎場の活用が多く高炉の耐火レンガの損傷が激しいため、修繕する。  
**質** 斎場管理委託料の減額は  
**答** 委託料の入札残である。  
**意** 契約については、指定管理を視野に入れて検討してもらいたい。

**質** 農林水産費施設修繕費の増額は

**答** 真栄田漁港内の灯標部分の修繕と前兼久漁港のトイレの和式2器を洋式に替える。モズク加工施設内の石膏版が剥離している部分を修理する。

**質** 観光協会検討委員会報酬、報償費、旅費の減額は

**答** 地域ビジネス力強化事業から支出する。

**質** 印刷製本費の増額は

**答** 村で発行している観光ナビマップが中国人観光客の来訪の増に伴い不足が生じ

は

**答** 工事工法で調整がつかず平成28年度以降に実施する。

**質** 県支出金(一括交付金)の増額は

**答** 万座毛周辺活性化事業、前兼久交流施設整備事業の増額による。

**質** その増額は、県の事業費の配分からなのか、村の事業費の配分からなのか

**答** 村の事業費の分からの持ち出し分である。

#### 歳出

歳出増の主なものは、総務費2千1百45万3千円、民生費6千5百55万1千円、教育費1千2百16万8千円。  
歳出減の主なものは、土木費5千6百88万円。

#### 委員からの質疑

**質** 防災用消耗品の増額は

**答** 赤間運動公園、山田校に防災倉庫を設置し防災消耗

たので、増刊を予定している。

**質** サッカー場修繕工事は

**答** 工事費から施設修繕費に組替えて執行する。

### 水道事業会計

平成27年度水道事業会計の資本的支出4千3百74万円が追加され、合計36億9百94万2千円となりました。主なものは、資本的支出4千3百74万円を増額し、過年度分損益勘定留保資金から4千3百74万円が補てんされました。支出の内訳として、建設改良費の4千3百万円は谷茶・富着水管橋の補修で、74万円は国へ返納しないといけない消費税等の額となっています。

**質** 議員からの質問

**答** 担当課長からの答弁

**意** 議員からの意見

品及び食糧品等を充実させる。

**質** 食糧品等については、何日分のストックか

**答** 1千6百人分の3日分を想定している。



赤間運動公園にある防災倉庫

**質** コミュニティセンター備品購入費の増額は

**答** 老朽化に伴いイス2百脚、テーブル50個追加購入する。

**質** 土地鑑定評価委託料の増額は

**答** 仲泊公民館整備計画に伴う事業費を算定することを



谷茶水管橋

#### 委員からの質疑

**質** 南恩納の水管橋は切り回し工法だったが、今回はなぜ、補強する方法を採るのか

**答** 腐食の進行がそれほどひどくないため、特殊な繊維で管を巻いて補強する工法が割安である。